

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

熊本県 大津町

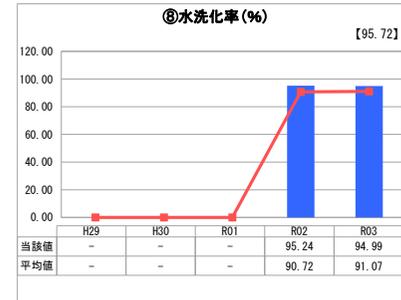
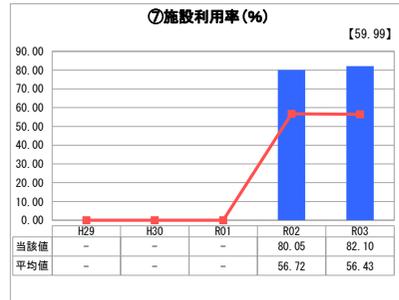
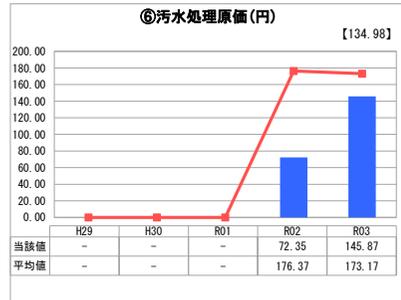
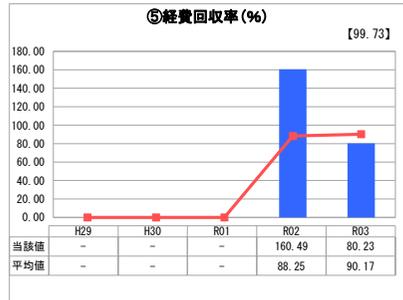
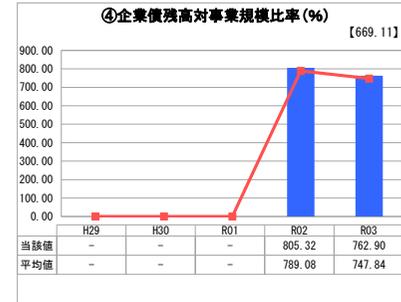
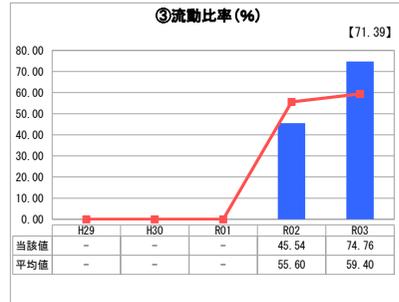
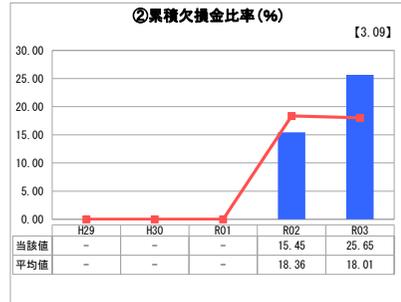
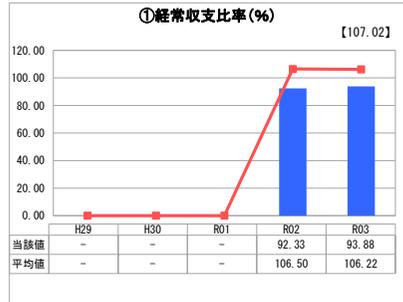
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	68.65	77.42	100.00	2,200

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
35,807	99.10	361.32
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,684	7.27	3,807.98

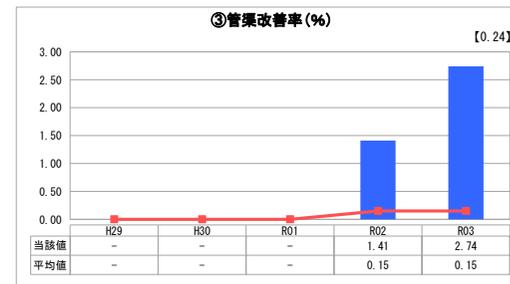
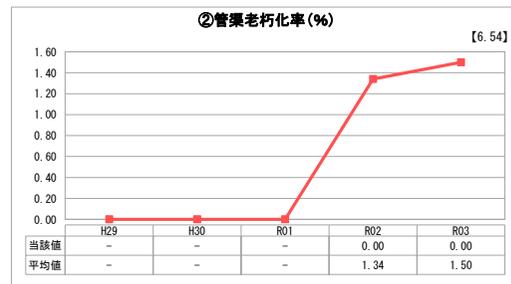
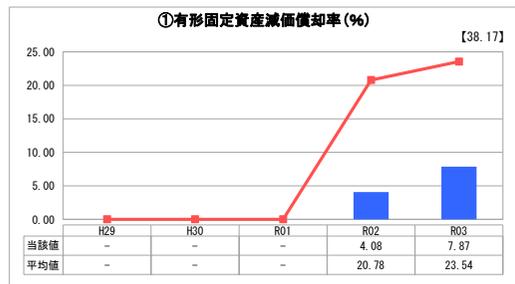
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率、② 累積欠損金比率、⑤ 経費回収率  
 経常収支比率は類団と比較して低く93.9%であり、経費回収率も80.2%と賸えていない。令和2年度に策定した経営戦略を最新データに更新し、令和5年度に下水道事業運営審議会で検討し、適正な使用料金体系の見直しを令和6年度に行うことで経営改善に努めたい。

③ 流動化比率  
 短期的な債務に対する支払能力が類団より15ポイント程度高い状況にあり、今後も注視していく。

④ 企業債残高対事業規模比率  
 類団比較でほぼ同等であり、今後も注視していく。

⑥ 汚水処理原価  
 類似団体との比較では27円程度低くなっているが、継続して経費削減や接続率の向上に努める。

⑦ 施設利用率  
 今後、処理水量の増加を見込んでおり、令和4年度に3系統目の増設が終われば、引き続き4系統の増設増強工事の検討が必要である。

⑧ 水洗化率  
 水洗化戸数は増えているものの、水洗化率では若干の減少になっている。公共水域の水質保全に向けて、引き続き未接続世帯への戸別訪問等により水洗化率向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

定期的に点検調査を行い、令和元年度に策定したストックマネジメント計画による、緊急性等の優先順位に基づき効率的な老朽化対策を行い、安心・安全の確保に努める。

### 全体総括

維持管理と改築更新、経営の効率化と健全化を図るため、令和2年度から公営企業会計に移行し、経営状況の明確化が図られている。今後は、更なる経費削減及び更新投資等に充てる財源確保に資するため、引き続き包括的民間委託を継続し、戸別訪問による水洗化率の向上に努める。また、令和5年度に運営審議会に使用料改定に対する意見を求め、その答申を踏まえた適正な料金体系を構築し、経営向上に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。